

酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画（案）について 【概要】

基本理念

知（地）のアリーナ

～ヒト・モノ・コトが行き交い、多様なコミュニケーションが創出され、知（地）的好奇心がインスパイアされるみんなの居場所～

- 市民の暮らしの質（QOL）の向上
- 酒田の価値向上

基本方針

学び、成長する場

- ・地域を知り、学び、好きになる。
- ・市民の知的好奇心に応え、支援し、暮らしを豊かにする。

交流の場

- ・日常のライフシーンに応える。
- ・市民も、観光客も寛ぎ、交わる。

情報発信の場

- ・庄内地方、酒田らしさを積極的に発信する。
- ・明確な情報が拡散、口コミで広がる。

子育ての場

- ・親子で気兼ねなく、安心し、利用できる。

アクションプラン （イメージ）

◆「知」のライブパフォーマンス

- 東北公益文科大学まちなか講座
- 日本海総合病院ヘルス・メディカル講座
- 著作者や酒田ゆかり人のミニトーク
- ライブラリアンによるお薦め本紹介
- 慶応義塾大学先端生命科学研究所まちなか講座 など



◆「地」のライブパフォーマンス

- 駅前マルシェ
- 食べマルシェ（酒田フレンチ・酒田のラーメン）
- 各地伝統芸能ストリートライブ
- ジオパーク、日本遺産関係まちなか講座 など

ライブラリーセンター（延床面積 3,000 m²基本）

(1) サービス、整備方針

①学びたい、知りたいに応え、地域課題の解決への支援を担う知の拠点

- ・各種講座の実施、レファレンス機能の向上
- ・地域・市民の課題解決（まちづくり、ひとづくり）の支援

②若者から高齢者までのあらゆる層の市民が集い、利用し、活動する場所づくり

- ・パソコン、モバイル端末の利用スペースの充実
- ・Wi-Fi環境の整備
- ・積極的な市民活動等への場所提供
- ・時間帯等の利用者層の違いに応じて可変する場所

③市民ニーズ等に的確に対応していくライブラリアンの育成

- ・チャレンジする ・顔が見える、信頼される
- ・研修機会の充実による質の向上

ライブラリーセンター

④自分のスタイルにあった読書空間、居心地の良い空間の提供

- ・静かな場所、BGMのある空間、少しにぎやかでも良い場所等
- ・飲みものの持ち込み可能

⑤地域を知り、好きになる郷土愛を育むサービス

- ・本市の歴史、文化、人物、自然等の情報発信
- ・光丘文庫所蔵資料の一部展示等による情報発信

⑥児童・子育て世代へのサービスの充実

- ・児童の調べものに対する支援
- ・子育て世代にやさしい空間づくり

⑦酒田の玄関口としての案内情報の強化

⑧学校図書館との連携の強化 ・学校図書館への支援

⑨分館、東北公益文科大学等との連携の強化

⑩高齢者・障がい者サービス

⑪閲覧・貸出サービス

⑫ICT サービス

⑬その他 ・文房具物販の可能性検討

(2) 資料収集方針

- ①計画蔵書数 約 300,000 冊
（開架約 20 万冊、閉架約 10 万冊）を目標

②収集のポイント

ア 市民の財産となる地域の資料・情報の収集

- ・地域の歴史・文化・産業・教育等、市民の財産となる資料・情報を画像や映像も含め幅広く収集

ライブラリーセンター

- ・交流都市や観光案内に資する資料、ガイドブック等の収集
- ・鳥海山・飛鳥ジオパークに関連する資料の収集の強化

イ 多様な市民ニーズに応える、新鮮で豊富な資料・情報の偏りない収集

- ・教養及び生涯学習のニーズ対応のため、人文科学・社会科学・自然科学の各分野にわたり偏りない収集
- ・国際交流、インバウンド対応、英語教育の強化等に対応するため、英語資料の充実の検討

ウ 青少年、20代若者向け資料の充実

- ・スポーツ、ファッション、音楽、芸術等の資料の充実
- ・調べ学習に必要な資料や、学校図書館の蔵書を補完するような資料を、学校図書館と連携しつつ幅広く収集
- ・将来の進路を考えるうえで参考になる資料の収集
- ・漫画の収集

エ 新聞・雑誌の充実

- ・新聞・雑誌の充実による寛いで時間を過ごせる場所づくり
- ・主要全国紙から東北地方・山形県内の地方紙等の幅広い収集
- ・外国語新聞の収集
- ・小学生新聞や中高生新聞の収集の検討

オ 一般図書

カ 乳幼児・児童図書

キ 高齢者・障がい者向け資料

ク 視聴覚資料

- ③ 資料の保存 ・適切な保存

カフェ（延床面積 200 m²基本）

- ・市民が気軽に立ち寄れる雰囲気と価格・メニューの設定
- ・**地域食材や特色あるメニュー**の提供の検討
- ・交流、コミュニケーションの創出を積極的に仕掛けるため、ワークショップ講座やイベント等の実施
- ・**夜にアルコール提供を可能とするなど**、時間帯、利用者層の違いに応じたサービスの提供
- ・ライブラリーセンター等の施設内への**テイクアウトサービス**
- ・**開架図書（一部除く）の持込み**や、飲食しながら読書できる場所

観光情報センター（延床面積 100 m²基本）

- ①観光コンシェルジュの配置、養成**
 - ・観光のおもてなしとして、酒田の魅力、観光に精通した観光コンシェルジュの配置、養成
- ②市民団体等との連携**
 - ・既存団体等との連携した運営を推進し、活動団体が観光情報センター内で活動できる環境づくりや、活動内容のPR等の実施
- ③情報発信機能の強化**
 - ・本市の観光モデルルート、まちなか観光（まち歩き）、イベント等の情報発信（オリジナル・ストーリー付加等）、回遊性向上
 - ・ソーシャルネットワークサービスによる情報発信
- ④土産品販売の検討**
- ⑤インバウンドへの対応**
 - ・英語が話せるスタッフを配置し、外国人観光案内所（カテゴリー1～2）の併設
 - ・Wi-Fi環境の整備
- ⑥その他**
 - ・観光客用のコインロッカーの設置
 - ・観光用自転車の設置

広場（延床面積 1,000 m²基本）

- ・**酒田の玄関口（まちのエントランス空間）**として、ふさわしいランドスケープ（景観）の形成
- ・市民の**ハレの場**、多彩なイベントの場として積極的な活用
- ・あらゆる世代が、憩える、潤いある屋外空間として**一部の芝生化**の検討
- ・防風対策、融雪装置等、気候性に配慮した整備

駐車場（200台基本）

- ・回転効率、適正な施設管理を考慮した利用基準の設定
- ・酒田コミュニケーションポートだけでなく、酒田駅周辺地区への来街機会の創出に資する運用
- ・**最初の2時間までは一律無料をイメージして今後具体化**
- ・EV充電器の整備の検討

バスベイ

- ・酒田駅周辺の**バス停の集約**
- ・安全で快適に、バスを待つことができる環境づくり
- ・観光情報センターなど、施設内に誰でも見やすい時刻表、案内表の整備

その他

- ・**駐輪場の整備**
- ・**3階屋上**の用途の今後の検討（屋外テラス、イベント用、子どもの遊び場等）
- ・年に一度の**酒田コミュニケーションポートまつり（仮称）**の開催

施設計画

- (1) 施設全体の留意事項**
 - ・ライブラリーセンターの持出し防止ゲート設置付近にカウンターを設けるなど利便性への配慮
 - ・施設配置は、駅との動線、施設間の動線、移動しやすさに配慮
 - ・機能間の連携や、すみ分けに配慮したわかりやすいゾーニング
 - ・民間施設を含めた再開発エリア全体との連携を意識した計画
 - ・民間施設と役割分担した災害時における一時避難施設（帰宅困難者用）としての機能
 - ・ライフサイクルを考慮し、建設コストと維持コストの最適化
 - ・各機能間の動線上の雨対策（シェルター）
 - ・気候性（冬季の風雪等）への配慮
 - ・ユニバーサルデザインへの配慮
- (2) 地域産業支援基本方針及び木材利用促進基本方針に基づく整備の推進**
 - ・地域産業支援基本方針（H28.4策定）及び木材利用促進基本方針（H28.12策定）に基づく地域産業の振興、地元産材の活用など
- (3) 施設各機能の計画の留意事項**
 - ①ライブラリーセンター**
 - ・書架間隔は1,800mmを基準とし、柱間隔は整数倍を基本
 - ・書架の高さは、子ども用は1.5m程度、大人用は2.1m程度を基本
 - ・休館日や開館時間外に資料が返却でき、自動車アクセスしやすい位置へのブックポストの設置
 - ②カフェ**
 - ・外からも利用できる計画の検討

など

管理運営計画

(1) 開館時間及び休館日

①ライブラリーセンター

- ・多様な世代、層が集えるよう、現在の閉館時間の延長
- ・週一回程度の休館日の設定
- ・ICシステムの効果的運用による図書整理期間の短縮

②カフェ

- ・開館時間は、ライブラリーセンターとの相乗効果、相性に配慮
- ・休業日は、観光客の玄関口・駅前不足している飲食機能を補うという性格等から、観光情報センターの休業日と同じ

③観光情報センター

- ・開館時間は、他市（特に広域観光圏となる秋田市、新潟市）を参考に設定
- ・開館時間以外の来館者に対し、ライブラリーセンターのカウンターや隣接する民間施設でも案内ができるよう連携方法の協議

④広場

- ・積極的な広場の活用促進（イベントへの貸出し等）を基本とし、ライブラリーセンターの開館時間等と同じ
- ・休業日は、にぎわい創出に繋げていくため年中無休

⑤駐車場

- ・自動化により、24時間営業、年中無休を基本

◆イメージ

施設区分	開館時間		休館・休業日
	月～土	日、祝	
ライブラリーセンター	9:00～21:00	9:00～19:00	毎週1日、図書整理期間6日以内、12/29～1/3
カフェ	9:00～21:00	9:00～19:00	12/31～1/2
観情センター	9:00～19:00	9:00～19:00	12/31～1/2
駐車場	24時間	24時間	年中無休
広場	9:00～21:00	9:00～19:00	年中無休

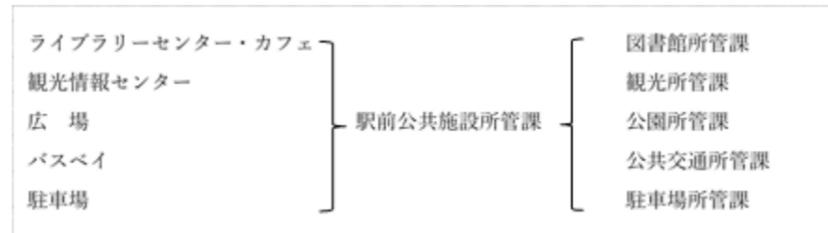
(※) 利用状況や市民ニーズに応じて、柔軟な見直しや運用の実施

管理運営計画

(2) 運営組織

- ・所管課を一元化した管理体制を敷き、効果的・効率的な運営実施

◆イメージ



(3) 運営形態

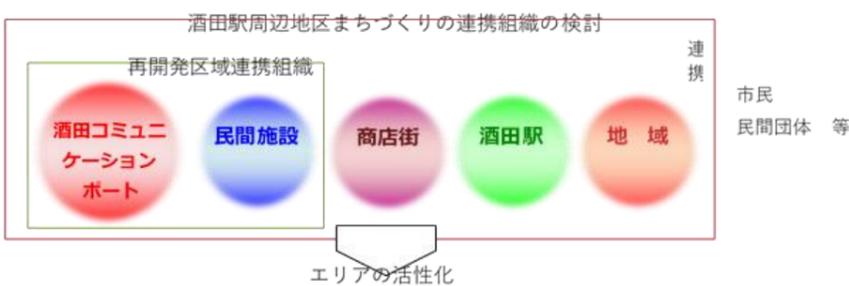
- ・民間の運営ノウハウの導入や図書館ボランティア、観光ガイド協会などの市民団体等との協働推進

(4) 事業計画及び評価

- ・毎年の事業計画及び目標の達成状況に関する評価の実施

(5) 民間施設、周辺関係機関等との連携（エリアマネジメント組織の検討）

- ・再開発区域内の民間施設との連携組織や駅前商店街、酒田駅、地域コミュニティ等との連携組織の検討



人材の確保及び育成

- ・専門性、ホスピタリティ、チャレンジ、人を大切にする人材

市民とともに歩み、成長していく施設づくりを目指して

- ・市民参画型の施設づくり

事業スケジュール

- ・基本設計 平成28年度～平成29年度
- ・実施設計 平成29年度
- ・建設工事 平成30年度～平成31年度
- ・開館準備 平成30年度～平成32年度
- ・開館 平成33年4月頃